

## 道路公団民営化と“政府のリストラ”

中里 透\*

### 1.“小泉改革”の評価

#### 1.1 “小泉改革”で進んだもの：民間部門の構造調整

金融システムの安定化

主要行の不良債権比率(8.4%(2001年3月末) 1.8%(2006年3月末))

民需主導の景気回復

公共事業関係費はピーク時の半分に(14.9兆円(1998年度) 7.2兆円(2006年度))

#### 1.2 “小泉改革”で進まなかったもの：“政府のリストラ”

“小さな政府”(公務員改革/特殊法人改革)

“官から民へ”(道路公団民営化/郵政民営化)

“地方にできることは地方に”(地方分権改革)

#### 1.3 ケーススタディ：道路公団民営化

##### (1) “民営化”の目的

高速道路網の整備のあり方の見直し(9,342km全線建設の是非)

高コスト構造の是正

##### (2)道路公団方式のポイント

料金プール制(内部補助のスキーム)

A´路線と合併施行(インプリシットな公的助成)

資金コスト3%路線(年間3千億円の国費投入)

##### (3)民営化スキームの評価

“民営化”が不十分(経営の自主性が十分確保されていない)

“民営化”という政策割当の誤り(整備計画の見直しが重要)

“抜け道”の存在(新直轄方式)

---

\* 上智大学経済学部 E-mail: nakazatopv@hotmail.com

#### (4)道路公団民営化の教訓

- “組織改革”の有効性の検証 (“看板の掛け替え”より業務の見直しが重要)  
社保庁改革
- “改革”の運営体制の検証 (“原案は7分の強み”)  
経済財政諮問会議の今後

## 2. 今後の課題

### 2.1 政府の“大きさ”の選択

- “効率”と“安心・安全・安定”のバランス  
増税か歳出削減か？

### 2.2 財政再建の進め方

- “増税なき財政再建”と“財政再建なき増税”
- “増税に値する国”をつくる努力（公的部門の効率化）が重要  
コミットメントの重要性
- “expansionary fiscal consolidation”の議論  
財政の“健全化”と金融の“正常化”

## 参考文献

- 「特殊法人改革」上村敏之・田中宏樹編著 『「小泉改革」とは何だったのか』  
日本評論社, 2006年6月.
- 「ニュースの経済学：道路公団民営化」『経済セミナー』2002年9月号, 日本評論社.
- 「公的部門の現状と政府のリストラ」『経済セミナー』2006年1月号, 日本評論社.
- 「経済教室：財政再建の道筋」『日本経済新聞』2006年1月25日付朝刊.
- 「財政改革と経済活動」『フィナンシャル・レビュー』第76号, 財務省財務総合政策研究所, 2005年5月.